



小田原なぎさ会通信

No.35

2023年10月1日発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<中期的な活動指針>

広げよう！『活動の輪』

理事長 乾 恒雄

新型コロナウイルス感染症は5月8日付けで5類に移行しましたが、インフルエンザとの同時流行などもあり、まだまだ気が抜けない状況にあると受け止めています。今しばらくは、引続き緊張感を持った判断と対応が必要と考えています。

さて、今年度も基本方針として、「**現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く**」ことを掲げて活動を開始しました。昨年度までは感染症の影響で活動中断を余儀なくされた事業も多々ありましたが、少しずつ活動を再開しています。

1年の最大イベントである「2023年(令和5年)度の通常総会」は、4年ぶりに会員の皆様やご来賓と共にコロナ禍前の形式で5月24日に開催し、無事終了いたしました。また、SDGsの推進では、「かながわSDGsパートナー」と「おだわらSDGsパートナー」への登録を終え、協働開始に向けた基盤を整えました(詳細次ページ参照)。そして、今年度は関東大震災から100年の節目にあたります。毎年の防災(減災)訓練をはじめとして、1人ひとりの安全確保に対する意識向上を図っています(詳細次ページ参照)。

標記の中期的な活動指針「**広げよう！『活動の輪』**」は、5年計画として策定してから4年半が経ち、残すところ半年になりました。全国各地で多くの共感をいただき、現時点で120名を超す会員数まで『活動の輪』が広がっています。一方、この指針の本質は「**普及啓発事業の強化**」にあり、今後も引続き注力すべき活動であると考えています。多様性の社会の中で「**障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らす地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い**」を大切に、更なる事業推進に取組んでいきます。1人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を広げていきましょう。



上記の想いや私たちの活動は、「**SDGs**」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減等)への取組みによる『**誰一人取り残さない**』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています。

<新任理事のご紹介・ご挨拶> 今年度から新しく理事に就任しました石黒雅則さんをご紹介します。

このほど理事に就任させていただきました石黒と申します。乾理事長とは会社時代からの友人で、その後もスキーなどで親交を重ねる中、小田原なぎさ会の活動を知り、些少の寄附やアルミ缶の提供などをさせていただいていました。小田原なぎさ会創立15周年記念式典に参加させていただいた際、乾理事長をはじめとしたスタッフの皆様や通所している皆さん及びご家族の方々のご尽力を目の当たりにして、私はアルミ缶の提供などのみで他に何もなくて良いのか? 何かできることはないのか? と多少のジレンマを持ち続けていた次第です。そんな中、乾さんから理事就任の打診があり、即答で快諾してしまいました。まだ、殆ど活動に参画できていない状況にありますが、少しでもお役に立つように取組んでゆきたいと思っております。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

SDGs パートナーとして協働開始



神奈川県及び小田原市のSDGsパートナー登録の審査を通過して、令和5年8月31日付けで「かながわSDGsパートナー」として、令和5年8月29日付けで「おだわらSDGsパートナー」として、各々の登録を完了しました。

当法人は下記のような具体的な取組みにより、SDGs 推進に寄与しており、今後は更に連携を広げて行く中で、より広く深く活動を展開していきたいと考えています。

- 1) 障害者の自立支援活動：『共存共生社会』の実現へ
- 2) エコキャップ活動：『自然保護』と『ワクチン支援』
- 3) エコマグネット製作・販売：『アップサイクル製品』
- 4) 発生ゴミ削減（回収資源アップ）：『身近なところから』



かながわ SDGs パートナー登録証



早速、「おだわらSDGs実行委員会」の皆さんとSDGs 推進に向けたお互いの取組みや想いを共有するところから着手しました。すぐに具体的な協働につなげることは難しいかもしれませんが、お互いに刺激を与え合い意見を交わす中から、色々な可能性が生まれてくると考えています。

おだわら SDGs パートナー登録証



パートナー登録式にて
左：実行委員会会長、右：市長

<おだわらSDGs実行委員会 会長 原正樹様からのメッセージ>

この度、小田原なぎさ会様にパートナー団体としてご登録いただき、活動を共にする運びとなりました。多様性のある社会の実現を目指し、様々な障害を持つ方々の自立を支援する取組みに、深く共鳴するものです。今後は手を携えながら、普及啓発に最善を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

* SDGs の精神にも相通ずる私たちの活動を、皆様と共に広げていければ幸いです。

防災(減災)への取組み～関東大震災から100年～

関東大震災から100年。災害自体の発生を防ぐことは難しいと思いますが、『災害に備えることで被害を減らすこと』はできると考えます。地域との連携はもとより、施設内の各種備品や避難マニュアルなどをしっかりと整備・点検したうえで、避難訓練を定期的に繰返し実施することにより、災害発生などの非常事態になった時にも慌てることなく対応できるように努めています。

自主防災訓練の様子(2023.9.1 実施)



避難行動マニュアルに従って訓練開始



まずは、机の下へ一次避難



ヘルメット装着
人員点呼



今回は2階からハシゴで避難訓練



訓練実施の振り返りミーティング
(全員で感想や意見などを交換し、次に活かす)

通所メンバーさんの感想： 毎年訓練に参加しているので、思い出して助かっています。訓練に参加を続けたいです。 A.Nさん
避難はしごを実際に使ってみて、うまく避難できなかつたです。なんとか高所恐怖症を克服したいです。 R.Tさん

地域へ積極的に発信(2023.9.9)



おだわら市民交流センター「UMECO」からの依頼を受け、インクルーシブ防災に関する私たちの活動を紹介しました。

このような発信の場を活用すると共に、地域主催の防災訓練に参加するなど、普段から色々な機会をきっかけに『つながり』を構築することにも注力しています。



運営施設のトピックス

① 少しずつイベントの開催 & 参加を再開しています

5類移行後、世の中では「コロナ明け」のイメージが先行していますが、まだまだ気が抜けない状況が続いています。小田原なぎさ作業所でも少しずつイベントを再開したり、参加する機会を増やしていくなど、コロナ禍前の活動に戻ろうと歩んでいます。クラブのイベントに参加している時の通所メンバーさんは、とっても楽しそうです。作業所内ではみられないみなさんの一面も観ることができて、各々の個性を活かす手助けにもつながっていると感じています。場面に応じた適切な感染防止対策を心がけながら、引続き色々なことにみんな楽しんでながらチャレンジしていきたいと思えます。

6/8 白梅ボーリング大会参加



4/14 及び 6/16 畑体験実施

7/29 小田原市美術展覧会に出展 & 見学



8/12 新田公園夏祭り参加

4年ぶりの夏祭りの開催に、通所メンバーさんも楽しいひと時を過ごしました。自治会の皆さんアルミ缶回収にご協力ありがとうございました。

6/30 収穫祭実施



畑体験で作った野菜を使ってカレーを作り、みんなでいただきました。自分達で育てた野菜は格別においしいね！

② 10/1 「富士見地区民スポーツフェスティバル」に参加

爽やかな秋晴れの中、近隣の小学校で開催された地区民体育祭は一昔前の地区運動会とは違い、老若男女を問わず誰でも気軽に参加できるプログラムでした。この超少子高齢化の中で「参加しやすい、参加したい！」と思えるイベントに変化しているように感じました。また、地区の皆さんが優しく声をかけてくださり、楽しく笑顔で競技に参加させていただき、地域との交流を深める場がココにもあると感じました。



通所メンバーさんの感想：地区の皆様との再会が実ったり、ここ数年出来なかった盆踊りにも参加出来て、とても楽しかったです。 A.Nさん



③ 食事代補助制度スタート！ 🍱

7月から「通所メンバーさんの通所意欲の向上」を図ることなどを目的として、昼食代の補助を始めました。1日の一定時間帯を作業所で過ごした通所メンバーさんに対して、昼食代の一部を補助する制度です。

通所メンバーさんの感想 ・毎日の昼食代が補助されてとても助かります。 T.Iさん
・食べ物の金額も高くなっている中で補助のおかげで助かっています。 A.Nさん
・振り返りの会までいると補助がもらえるのでこれからも継続してもらいたい。 M.Hさん

④ みんなの短歌 4 通所メンバーさんが作った短歌を少しずつご紹介しています。



- ・仰ぎ見る夕日の滝のみずしぶき ひと時涼し森林の中 S.Kさん
- ・草むらにカマキリ見つけふと思う 夏の終わりを告げにきたかな K.Yさん



事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

●今までの主な活動（R5年4月～9月）

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 4/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.34 発行 | 7/26 第1回地域ネットワーク会議（近隣）開催 |
| 4/14 畑体験（管理）実施 | 8/12 新田公園夏祭り参加 |
| 4/19 令和5年度第1回理事会開催 | 9/1 自主防災訓練実施 |
| 5/24 2023年（令和5年）度通常総会開催 | 9/9 UMECO 団体交流会参加 |
| 6/16 畑体験（収穫）実施 | 9/13 令和5年度第2回理事会開催 |
| 6/21 第1回地域ネットワーク会議（広域）開催 | 9/29 第10回なぎさ祭開催：形式工夫（規模縮小） |

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、バス旅行は中止し「なぎさ祭」は規模を縮小して開催しました。

●今後の主な活動予定（R5年10月～R6年3月）

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 10/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.35 発行 | 11/29 第2回地域ネットワーク会議（広域）開催 |
| 10/6 赤い羽根共同募金活動（共同募金会主催）参加 | 12/10 小田原市つながる福祉展参加 |
| 10/20 小田原なぎさ作業所 親睦会 BBQ 開催 | 12/13 ハートメッセージ2023（県精連主催）参加 |
| 11/11 おだわらハートフェスタ（市主催）参加 | 12/22 クリスマス地域交流会開催 |
| 11/11 県民の集い（NPO法人じんかれん主催）参加 | 2/中旬 第2回地域ネットワーク会議（近隣）開催 |
| 11/18 城下町おだわらツアーデーマーチ（市主催）参加 | 3/13 令和5年度第3回理事会開催 |
| 11/26 UMECO 祭り参加（展示・販売） | 3/中旬 畑体験（植付）実施 |

*当面は、新型コロナウイルス感染症などの感染状況に応じて、随時各種活動の開催可否を判断してまいります。

●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

★会員大募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！！

会員になっていただくことだけで、障害者の支援活動に参加していただけます。大切に考えていることは、『皆さんの思いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：（個人）入会金0円 年会費2,000円（団体）入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：（個人）入会金0円 年会費1,000円/口（団体）入会金0円 年会費5,000円/口

★ご寄附による支援をお願いいたします

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大50%が税額から控除されます。

*寄附金は下記どちらかの口座へお振込みいただくか、NPO法人事務局へご持参願います。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いには、便利な口座振替（年1回自動引き落とし）もごさいます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ）オダワラナギサカイ

*他銀行から振り込みの場合（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店（普）0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

次号（No.36）は令和6年4月に発行予定です。当機関紙の感想や福祉に関する情報等がありましたら、下記メールアドレス（o-nagisa@nifty.com）までお寄せ願います。

これからも、更に多くの皆様に愛される「小田原なぎさ会通信」を目指し、より良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

